

中国地方における船員確保対策について

中国運輸局

2012年3月1日(木)

中国運輸局における船員確保対策について

【概要】

中国運輸局管内では、全国でも有数の船所として、数多くの内航海運事業者が存在している場所でもあり、国内輸送量の約30%を占める重要な産業として一躍を担っている。近い将来、船員不足の事態が予測されるなか、若年船員確保対策として、セミナー等で継続していくことが必要である。以下が、今年度実施した概要である。

【船員就職セミナー及び説明会の実施概要】

- ①平成23年7月7日
島根県立浜田水産高等学校
対象者：海洋技術科3年生 29名
- ②平成23年11月30日
海上自衛隊呉地方総監部（海運企業説明会）
対象者：任期制4名、定年制25名の海上自衛官
計29名
- ③平成24年2月8日 鳥取県立境港総合技術高等学校
対象者：海洋科1年生・2年生 計64名
- ④平成24年2月14日 島根県立浜田水産高等学校
対象者：海洋技術科2年生 19名



平成24年2月9日
日本海事新聞

「紹介した」とそれぞれ話していた。同校では、今春海洋科を卒業する3年生2人が海技術短期大学校などに進学し、商船への就職を目指しているという。

【目的】

海に囲まれた日本では貿易の99%、国内貨物量の約30%を海運が担っており、その船舶に従事する船員が減少し続けている現状に対して、船員確保・育成しなければならない喫緊の課題について、検討するものである。

民間の商船を使用して、実態に即した訓練を有効に活用し、育成スキームを明確にすることで認知度を高め、海運の重要性を広く周知することで、質の高い日本人船員を確保育成し、「民間完結型の船員組織」の必要性を発信しようとするものである。

- ◎ 第1回 平成23年8月10日 広島市 ホテルグランビア広島
議事内容＝研究会設立の経緯・船員確保・育成の現況と今後について 他
- ◎ 第2回 平成23年9月29日 広島市 ホテルグランビア広島
議事内容＝民間の行う船員教育の在り方について 他
- ◎ 第3回 平成23年12月9日 広島市 ホテルグランビア広島
議事内容＝海事センターの構想の概要について、意識調査について 他
- ◎ 第4回 平成24年度内 開催予定

【概要】

中国運輸局岡山運輸支局玉野庁舎では、岡山労働局と連携を取りながら、合同就職面接会や説明会に参加しており、ブースを設けて船員就職についての相談を行っている。岡山県内では、タンカーやケミカル船の多い船主が所在する「日生地区」を抱え、船員の確保には大きな課題としていることから、支局としても継続して地道な活動を行うことで、一人でも多くの船員が増えることを目標にしている。以下が今年度実施した概要である。

【就職面接会の実施概要】

《対象者：約800名規模、参加事業所数：250社》

《各種学校新規卒業予定者、未就職卒業者》

(平成24年2月実施は、40歳未満若年者も対象とする。)

- ①平成23年 7月 4日 岡山県総合グランド体育館 訪問者6名
- ②平成23年11月21日 岡山県総合グランド体育館 訪問者6名
- ③平成24年 2月15日 岡山県総合グランド体育館 訪問者5名